

県政戦略会議の概要

- 1 開催日時：平成18年11月9日（木）15：30～17：00
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 出席者：知事、副知事、出納長、各部局長等
- 4 欠席者：出納局長
- 5 議事概要：以下のとおり
（ 議題提出部局説明・回答、 意見・質問）

議題1：第二次戦略計画（仮称）中間案について（政策部）

資料1に基づき説明

第2編 政策・事業体系の詳細の確認はどのように行うのか。

11月15日行う実務レベルの会議の中で確認をお願いしたい。

地域編は全県でやっているものは載せず、一定の地域でやっているものを載せるという趣旨か。また、一地域でやっていないというだけで、他の地域は全部載せるのか。

原則はそういう整理である。特定の地域の取組だけに限ってしまうと記載内容が限定されてしまうので、あげていただくようお願いしているが、15日の実務レベルの会議で整理したい。

議題2：みえの舞台づくり提案・実践事業（三重県版特区）第2回提案募集の最終回答及び第3回提案募集について（政策部）

資料2に基づき説明

この事業の名称は、「みえの舞台づくりプログラム」と似ており、県民が混同するのではないかと懸念されている。

本事業は、「新しい時代の公」を進めるために提案を受け付けるものであり、戦略計画とは直接には関係しない。多様な主体の環境整備を目的としている。

事業の名称を検討する際、「県民しあわせプラン」に沿った名称ということで、「新しい時代の公」を進めるために県民と一緒に「みえの舞台づくり」をやっていこうという思いからこの名称にした経緯がある。

第3回募集において、県民の方へのサービス提供と直接的に関連しない業務についての提案等を対象外として整理すると、これまでの結果と不連続になることが危惧されるが、

第3回募集では、仕組みそのものを変更するため、最終的に整理したときには不連続になってしまうが、ご理解をいただくようにしていきたい。

「三重県版特区」という事業名であるのに、企業の規制緩和等の提案を対象外にしてしまうと説明がつかないのではないかと。

仕組みを変えたときに、三重県版特区という名称がふさわしいかどうかの議論はあるが、基本はこれまでの延長であり、できれば当初の名称のままで第3回募集を進めさせていただきたい。

議題3：「こころのふるさと三重」づくりの取組について（政策部）

資料3に基づき説明

三重の元気づくりにつながると思う。ただ、集大成のイベントとは、イベントの集大成なのか、それまでの成果の集大成なのか、イメージが分からない。

地域の資源を磨き、その成果を2014年に展開していただく。

市町でも色々な既存のイベントがあるが、それらは活用するのか、それとも今回のイベントは全て新規なのか。

既存のイベントも否定しない。磨き、新たな仕掛けをし、地域が一体になって取り組むものであればよい。ただ、バラバラでやってはいけないので、結びつけてコースを作るなどする。

既存のイベントも使う。他と組み合わせ商品化し、次につなげていく。経済的にも成り立つようにしたい。

式年遷宮までの8年間の諸行事のようなイメージで捉えると分かりやすいのではないかと。

過去、遷宮に合わせ、様々なイベントが行われてきたが、地域の産業も観光もおんぶに抱っこだったため、伊勢、そして県の観光が停滞したのではないかと。

ただ、おかげ横丁や二見での取組など、地域が主体となった取組が出てきている。この期間に魅力や人を磨き、イベント後も継続していく、そのようなイベントが良いのではないかと。

（2009年など）同じ年に色々なイベントがあるが、バラバラにやるのではなく、共通の冠や統一ロゴを付けた方がよいのではないかと。

イベントが目的というのはしっかりこない。イベントが観光と並列というのも違和感がある。イベントはその時限りのものであり、それをいかに地域づくりや観光に活用していくかが重要である。2014年のイベントもそれまでの（地域が主体となった取組の）集大成とする方が、県議会、県民も理解しやすいのではないかと。

集大成イベントの位置づけは決まっているのか。

まだ、ざっくりとしたイメージしかない状態である。

以上